

# 取扱説明書 初版

## エンジン多機能園芸機

### HG-BC260T

**混合燃料  
25 : 1**

上記以外や 25 : 1 ~ 50 : 1 のような  
幅を持たせた混合燃料使用不可

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方  
ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、  
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを  
読み取ることで、  
本製品の組立てなどを  
動画でご覧いただけます。



# 目次

はじめに	3	点検整備・清掃の仕方	29
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		エアクリーナー	29
安全にお使いいただくために	4	点火プラグの点検	29
エンジン多機能園芸機に係る安全事項	4	刈刃ユニットの点検整備・清掃	30
エンジン多機能園芸機の作業に係る安全事項	5	チェンソーユニットの清掃	31
安全ラベル	6	チェンソーユニットの点検整備	31
主要諸元	7	ソーチェンの目立て	33
振動障害の防止	7	ヘッジトリマーユニットの点検整備・清掃	34
各部の名称	8	ヘッジトリマーの刃の交換	35
梱包部品一覧表	9	アイドルリングの調整	37
組立て	10	シャフト	37
ハンドルの取付け	10	ナイロンカッターナイロンの交換	38
飛散防止カバーの取付け	10	長期間使用しない時	42
刈刃の取付け	11	故障と思ったら	43
ナイロンカッターの取付け	12	消耗品一覧	45
パイプ・ユニットの取付け	13	FAX 見積り・注文用紙	46
パイプ・ユニットの取外し	14	保証内容について	47
肩掛けストラップの取付け	14		
チェンソーユニットの組立て	15		
ご使用前の準備	16		
ソーチェン張りの調整	16		
チェンオイルの補充	16		
オイル吐出量の調整	16		
ヘッジトリマーの角度調整	17		
運転前の点検	18		
混合燃料 25:1 の作り方	18		
燃料の点検・補充	19		
チェンオイルの点検・補充	19		
刈刃の点検・交換	19		
ソーチェン点検・目立て	19		
ヘッジトリマーの点検・交換	19		
運転操作の仕方	20		
エンジンのかけ方	20		
エンジンの止め方	22		
作業の仕方	23		
刈刃・ナイロンカッターで草を刈る	23		
チェンソー作業の仕方	25		
ヘッジトリマーで垣根の剪定	26		
ヘッジトリマーで草を刈る	27		

# はじめに

このたびはエンジン多機能園芸機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。  
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

## 安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



**警告**

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



**注意**

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



**禁止**

取扱においてその行為を禁止します。



**指示**

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。  
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## エンジン多機能園芸機に係る安全事項



### 警告



### 禁止

- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー部が熱くなっていますので、手・身体などを触れないでください。火傷をする恐れがあります。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作の仕方がよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近付けないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- ・改造しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



### 指示

- ・自動車の室内やトランクにエンジンを載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- ・自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。又、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、換気の良い所で行ってください。燃料蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。静電気火花によって引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。火災の恐れがあります。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・刃刃の取付けは確実に行ってください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。

# 安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## エンジン多機能園芸機に係る安全事項

### ⚠ 注意



#### 指示

- ・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

## エンジン多機能園芸機の作業に係る安全事項

### ⚠ 警告



#### 禁止

- ・身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。
- ・動作中に回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ・ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
- ・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。



#### 指示

- ・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- ・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- ・万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
- ・本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。
- ・適切な時期に休憩をとってください。
- ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

### ⚠ 注意

- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイルを入れしないでください。





# 安全ラベル

本製品の本体、アタッチメントに下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容は製品改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



防護メガネ、耳栓、マスクを着用してください。



使用中及び使用後はマフラー周囲が高温になります。絶対に触れないでください。



常に保護手袋を着用してください。



点火プラグは素手で触らないでください。感電の恐れがあります。



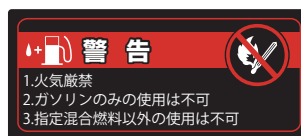
すべり止めがついている安全靴を着用してください。



火気を近づけないでください。



ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。



- 1.火気厳禁
- 2.ガソリンのみの使用は不可
- 3.指定混合燃料以外の使用は不可



刃物の取扱に十分ご注意ください。



作業者は、傍観者や動物を15メートル以内に近付けないでください。同じ作業領域で作業している場合は、安全な距離を維持してください。お互いから少なくとも15メートルです。



飛び跳ねにご注意ください。



ガソリンとオイルの混合比：25：1を使用してください。



火気を近づけないでください。



チェンオイルはチェン専用オイルか4ストロークエンジンオイル (SAE10W-30) を使用してください。



不注意または不適切な使用で怪我をする恐れがあります。



鋭い刃の取扱に十分ご注意ください。



枝などの落下物に十分ご注意ください。



騒音レベル 114デシベル

# 主要諸元

モデル名	HG-BC260T
型式	2ストロークエンジン
排気量	26cm <sup>3</sup>
燃料	混合燃料 25:1
燃料タンク容量	600ml
起動方式	リコイルスターター方式
寸法（長さ×幅×高さ）	本体900×220×250mm
寸法（全長）	刈刃ユニット880mm チェーンソーユニット890mm ヘッジトリマーユニット1380mm
重量	本体3.8kg 刈刃ユニット1.2kg チェーンソーユニット1.2kg ヘッジトリマーユニット2.2kg
三軸合成値	8.0m/s <sup>2</sup> K=1.5m/s <sup>2</sup>
センターボルトサイズ	M10×1.25
刃受け金具サイズ	Ø25.4mm
互換ソーチェン	OREGON（オレゴン）91PX39 ピッチ 3/8 インチ ゲージ 0.050 インチ（1.3mm） ドライブリンク数 39

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 振動障害の防止

### ●1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s <sup>2</sup> より小さい場合		②10m/s <sup>2</sup> より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200 ÷ (a×a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s <sup>2</sup> )

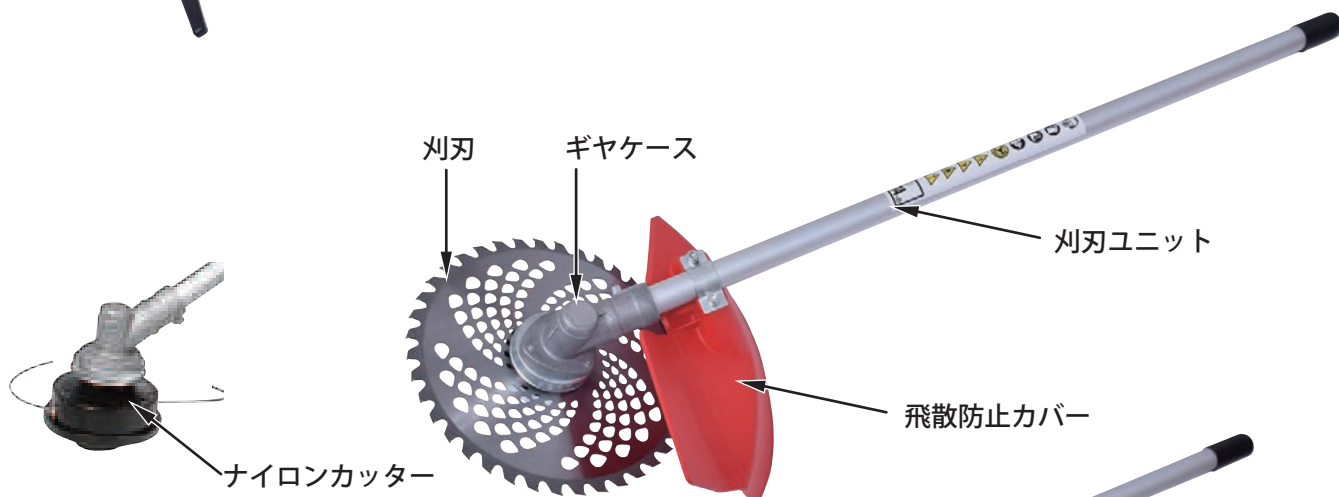
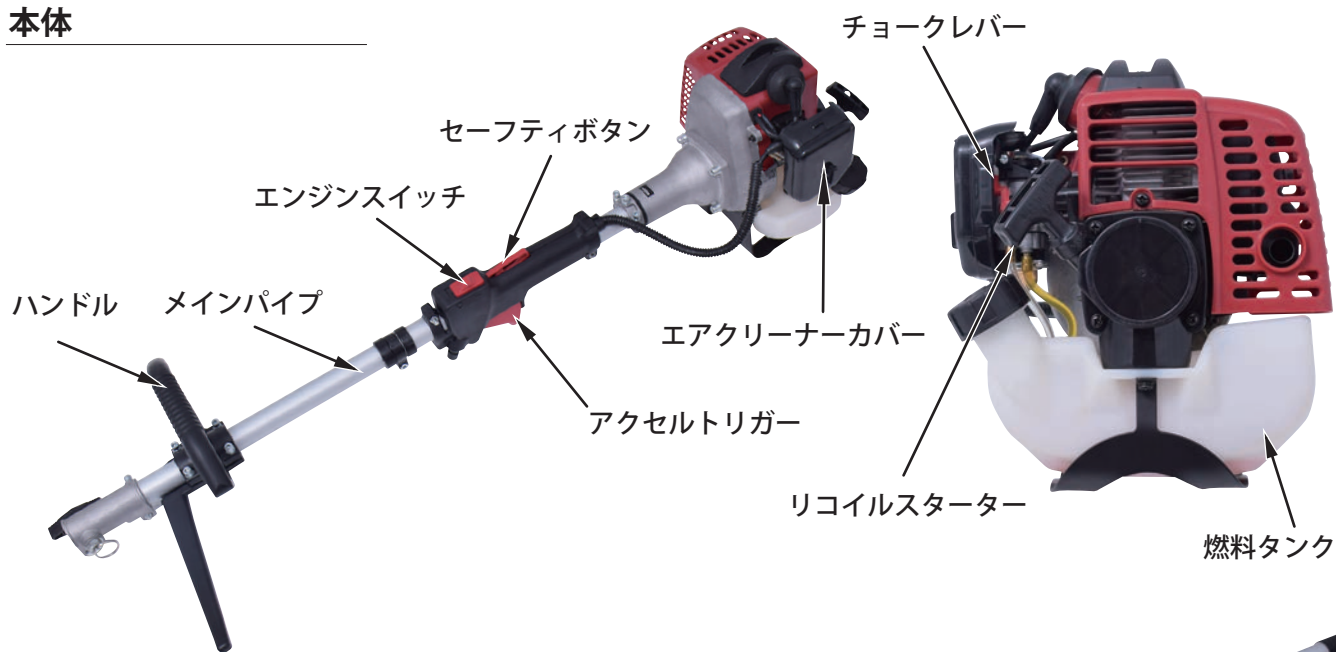
### ●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

# 各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

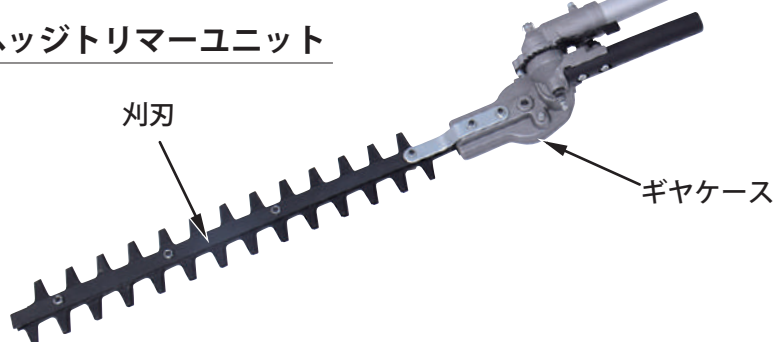
## 本体



## チェーンソーユニット



## ヘッジトリマーユニット





# 梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
  2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
  3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

## 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 刈刃</p> 	<p>C. 肩掛けストラップ</p> 
<p>D. 刈刃ユニット</p> 	<p>E 混合タンク</p> 	<p>F. ナイロンカッター</p> 
<p>G. チェンソーユニット</p> 	<p>H. ガイドバー</p> 	<p>I. ソーチェン</p> 
<p>J. ヘッジトリマーユニット</p> 	<p>K. ハンドル</p> 	<p>L. 飛散防止カバー</p> 
<p>M. 工具★</p> 	<p>※写真はプロトタイプのため、製品仕様は変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。</p>	

★付属の工具は、簡易的なものです。

# 組立て

## 警告

- ・組立てを行う時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

## ハンドルの組立て

- 1 ハンドルに仮留めされているボルト4本を一旦外します。



- 2 本体のパイプをハンドルブラケットの上下で挟み込みます。



- 3 4本のボルトを均一に締め、ハンドルをしっかり固定します。



## 飛散防止カバーの取付け

- 1 飛散防止カバーに仮留めされているボルトを一旦外します。



- 2 飛散防止カバーに刈刃ユニットをセットします。



- 3 取付金具をボルトで固定します。



# 組立て

## 警告

- ・ 刃刃を取付ける時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 刃刃にひび割れ、変形がないことを確認後、取付けてください。
- ・ 刃刃の取付けは、手袋着用の上、行ってください。
- ・ 取付後、刃刃にがたつきがなく、中心の丸穴にずれが無いことを確認してください。
- ・ エンジンをかけた際、振動が大きい場合は、偏芯の可能性があります。そのまま使用されますと、重大な事故や故障につながります。刃刃は確実に取付けてください。

## 刃刃の取付け

- 1 ギヤケースが上に向くように本体を置きます。



- 2 ギヤケースの固定穴に六角レンチを挿込み固定し、ボックスレンチで取付ナットを時計回り（逆ネジ）に回して刃押さえ金具、ナットカバーを外します。



- 3 六角レンチをギヤケースの穴に挿込みます。

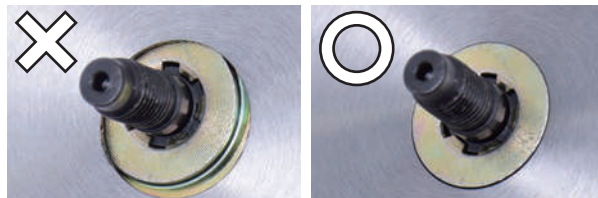


- 4 刃受け金具の凸部分に、刃刃の穴がずれないように、刃の向きに注意して置きます。



## 注意

刃受け金具の凸部から刃がずれていると偏芯を起し、振動が激しくなります。しっかりはめてください。

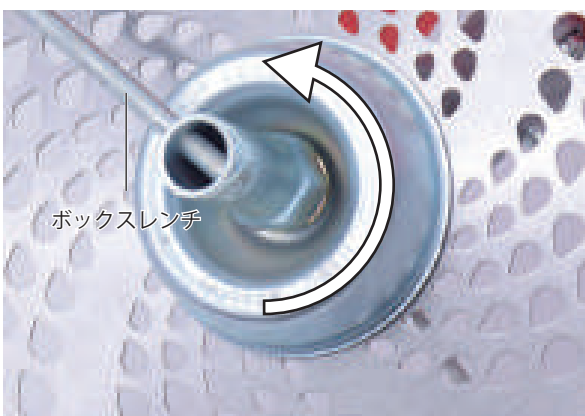


- 5 刃押さえ金具を取付けます。  
この時、刃受け金具から刃刃がずれやすくなりますので、ご注意ください。



# 組立て

- 6** ナットカバーを挿込み、ギヤケースの固定穴に挿込んだ六角レンチを押さえ回転を止めながら、ボックスレンチで取付ナットを反時計回り回し締付けます。



## ナイロンカッターの取付け

- 1** メインパイプのギヤケースの穴と刃受け金具の穴を合わせ、六角レンチを挿込み回転を止め固定します。



- 2** ナイロンカッターのネジ部をセンターボルトにねじ込み（反時計回り）、六角レンチで回転を止めながらしっかり締付けます。締付けが弱いと使用中に外れ、大変危険です。





# 組立て

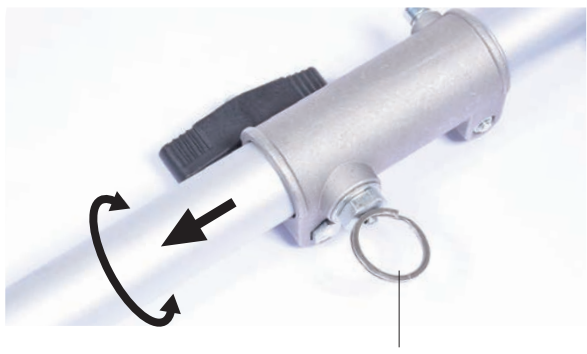
## パイプ・ユニットの取付け

メインパイプ又はユニットパイプを本体パイプに取付けます。

- 1 ノブナットを緩め（反時計回り）、パイプのロック穴と本体パイプのロックピンの穴の位置を合わせます。



- 2 ロックピンを引っ張りながらパイプが本体パイプに突き当たるまで挿込み、ロックピンがパイプの穴に入った気配があったら指を放します。確実に接続されたかパイプを引っ張り確認します。



ロックピンが確実にロック穴に入っているか、パイプを引き、抜けないか確認してください。パイプを回すとロックピンが入っていれば、パイプは回転しません。

- 3 ノブナットを時計回りに回してしっかり固定します。



## ワンポイント

### メインパイプが入らない場合

メインパイプを挿込む際に中にシャフトがあります。多角形になっているものが本体側（メス）とメインパイプ側（オス）にあり、それがしっかりとハマる様に一度突き当たった後に左右に回します。（下記写真○部分）

しっかりかみ合えばそこから更に奥に入ります。



# 組立て

## パイプ・ユニットの取外し

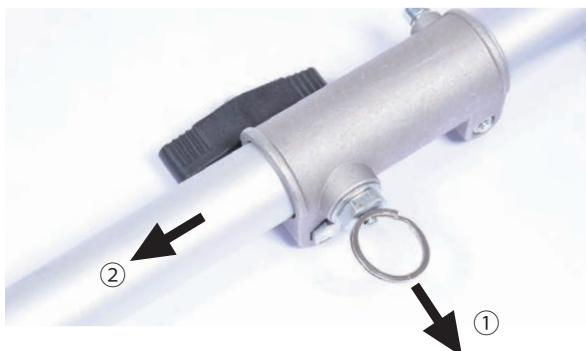
メインパイプ又はユニットパイプを本体パイプから取外します。

- 1 ノブナットを緩めます。(反時計回り)



- 2 ロックピンを引き、ロックを外しながら、パイプを引抜きます。

※抜いた際に、パイプ内のシャフトが連結したままの状態になってしまった場合は、P.37をご覧ください。



## 肩掛けストラップの取付け

- 1 肩掛けストラップのフックを、向きに注意しながら本体のハンガーに引っ掛けます。





# 組立て

## 警告

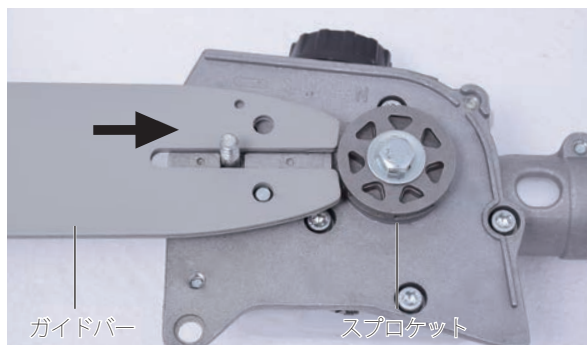
- ・組立てを行う時は、必ずスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- ・刃の取扱いは、手袋着用の上、行ってください。

## チェーンユニットの組立て

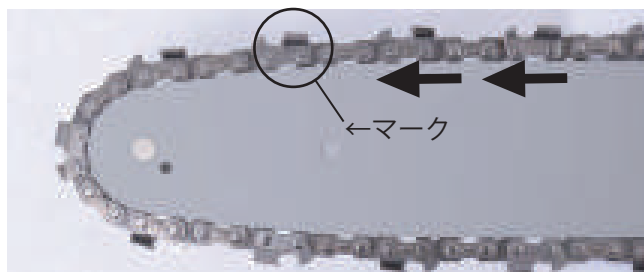
- 1** チェンカバー取付けナット1個を取外し、チェンカバーを取外します。



- 2** ガイドバーをスプロケット寄りに取付けます。ガイドバーには表裏はありません。



- 3** ソーチェーンを、刃の向き（←マークが回転方向）に注意してスプロケットにかけ、ガイドバーの溝に入れていきます。



※上記方法でソーチェーン入れづらい場合は、

- ① 先にスプロケットにソーチェーンをはめ、
- ② 次にガイドバー先端からソーチェーンをはめていき、
- ③ 最後にガイドバーの穴をチェーン調整軸にはめます。
- ④ チェーン調整軸と穴の位置が合わない場合は、チェーン調整ネジをマイナスドライバーで回して、位置を調整します。



- 4** チェンカバーを取付け、チェンカバー取付けナットを軽く締めてください。



## ご使用前の準備



このQRコードを読み取ることで、「ご使用前の準備」を動画でご覧いただくことができます。

### ソーチェーン張りの調整

ソーチェーンは常に適正な張りに調整してください。新しいソーチェーンは張りの調整を行っても、数回使用するとすぐ伸びてしまいますので、頻繁に調整をする必要があります。

ソーチェーンの張りが弱いと外れやすくなり、強いとソーチェーン、ガイドバーの早期摩耗の原因となります。

- 1 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーン張り調整ネジをマイナスドライバーで時計回り(右方向)に回してソーチェーンを張ります。



- 2 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーンカバー取付けナットをしっかりと締めます。



- 3 ソーチェーンが手で動くことを確認します。

- 4 ソーチェーン張りは、ガイドバーとの隙間が出ないように張ります。チェーンオイルを入れた後、エンジンをかけ、チェーンを回した時にたるみがあれば、張りの調整をします。



### チェーンオイルの補充

チェーン専用オイルを準備してください。

- 1 オイルタンクキャップ面を上にして開け、チェーンオイルを「MAX」のラインまで給油してください。  
給油後はオイルキャップをしっかりと締めてください。



### オイル吐出量の調整

硬い木、太い木を切る場合、寒い時期にオイル粘度が高くなり吐出量が少なくなったと感じた時などに、吐出量の調整を行います。

- 1 マイナスドライバーを準備します。
- 2 製品の底部にある調整ネジを押しながら回して、吐出量を調整します。(3段階約90°の範囲で調整) 左に回すと吐出量が増えます。  
注) 回しすぎや押さずに回すと破損します。



## ご使用前の準備

### 警告

- ・ 組立てを行う時は、必ずスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- ・ 刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

### ヘッジトリマーの角度調整

- 1** ロックレバーとクランプレバーを指で握り込むとヘッジトリマーの刃部分のロックが外れ、角度を調整できます。



- 2** 作業場所に合わせて角度を調整します。刃は270°の範囲で角度を調整できます。



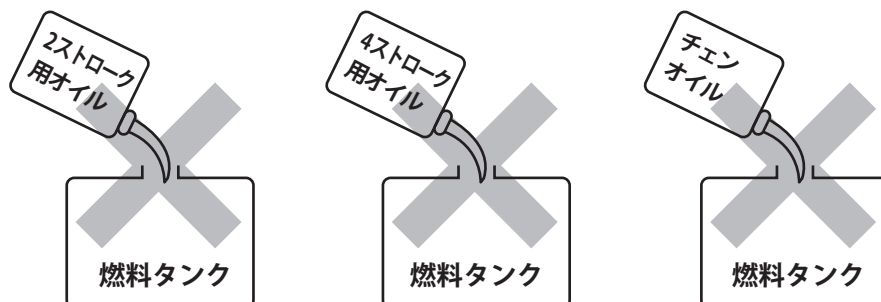
# 運転前の点検

## 警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

## 注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



## 混合燃料 25:1 の作り方

市販の25：1～50：1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。

エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン  
・2ストローク用オイル JASO FB 級以上  
・漏斗(じょうご)  
・混合タンク(付属)  
を準備します。
- 2 混合タンクを25：1と表示されてる向きにします。
- 3 左にオイル、右にガソリンを入れます。オイルを“5”の位置まで入れた場合、ガソリンも“5”まで入れます。

- 4 混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハンします。





# 運転前の点検

## 燃料の点検・補充

使用燃料	混合ガソリン(25:1)
------	--------------

燃料（混合ガソリン）の量を点検します。

- 1 混合ガソリン (25:1) を準備します。
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 混合ガソリン(25:1)を少しずつこぼさないように給油します。
- 4 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

## チェーンオイルの点検・補充

チェーンオイル	SAE 10W-30 (4 ストローク用エンジンオイル) 又はチェーン専用オイル
---------	--

チェーンオイルの量を点検します。

- 1 チェンオイルを準備します。
- 2 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。



- 3 チェンソーオイルを給油します。
- 4 給油後はキャップをしっかりと締めてください。



・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

## 刈刃の点検・交換

刈刃の状態を点検し、不具合がある場合は新しい刈刃に交換します。

- 1 刈刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗が無い点検します。
- 2 不具合がある場合は、新しい刈刃に交換します。

## ソーチェン点検・目立て

ソーチェンの緩み、欠け、摩耗が無い点検します。緩みがある場合は張りの調整を行います。(P.16 参照) 欠けや摩耗がある場合は、交換又は目立てを行います。(目立てはP.33参照)

## ヘッジトリマーの点検・交換

ヘッジトリマーの状態を点検し、不具合がある場合は新しい刃に交換します。

- 1 刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗が無い点検します。
- 2 緩みがある場合は締付けます。刃に歪みや曲がりがなく、動きが鈍い場合は、締付けを少し緩めます。(P.36 参照)
- 3 刃に歪みや曲がり、欠けなど不具合がある場合は、新しい刈刃に交換します。(P.35 参照)

# 運転操作の仕方

## 警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・エンジン始動時、刈刃が回り始めることがあるので、刈刃が地面等に触れていないことを確認してください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

## 注意

- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

## エンジンのかけ方

### ■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

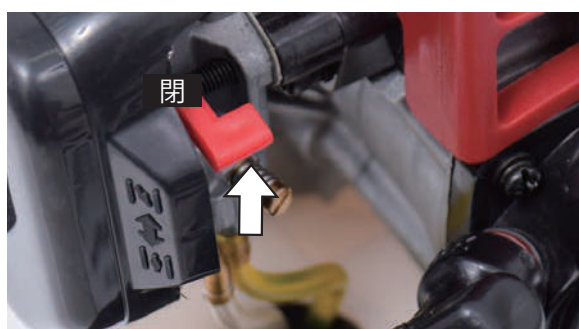
- 1 エンジンスイッチをON「一側」にします。



- 2 プライマリーポンプを5~6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



- 3 チョークレバーを引上げ「閉」にします。



- 4 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐに素早く60~70cm引張ります。  
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



## 注意

- ・チョークレバーを「閉」の状態でも、リコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。



# 運転操作の仕方

- 5** 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5回繰り返します。

## ⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

## 👉 リコイルの引き方ポイント

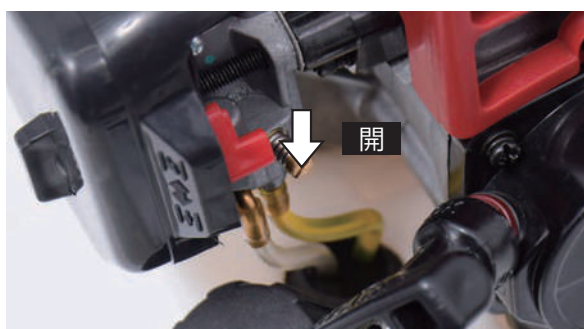
※写真は別機種



- ① 良い例：約70cm引いている所。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

## ●初爆が確認できた場合

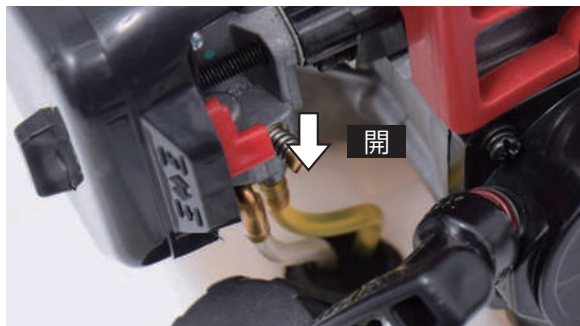
- 1** チョークレバーを「開 | ↓ |」にします。



- 2** リコイルスターターを素早く数回引きます。  
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 3** エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 4** エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

## ●初爆が確認できなかった場合

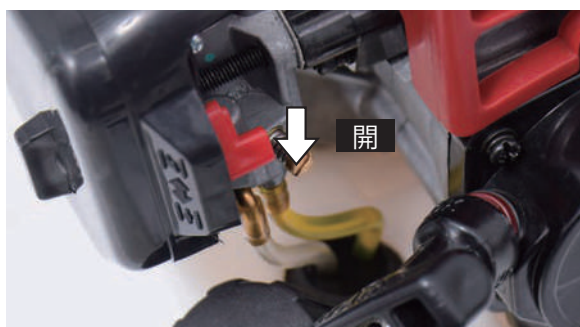
- 1** 万が一初爆を聞き逃した場合でも、リコイルスターターを引くことは5回でやめてください。それ以上行くと点火プラグを燃料で濡らしてしまいエンジンがかからなくなります。対処方法は、P.44参照。
- 2** チョークレバーを「開 | ↓ |」にします。



- 3** リコイルスターターを素早く数回引きます。  
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 4** エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 5** エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

## ●初爆と同時に始動した場合

- 1** チョークレバーを「開 | ↓ |」にします。



- 2** そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 3** エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

# 運転操作の仕方

## ■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

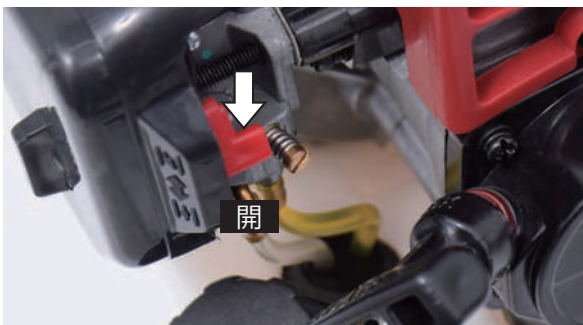
- 1 エンジンスイッチを ON「一側」にします。



- 2 プライマリーポンプを5~6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



- 3 チョークレバーを「開」にします。



- 4 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真すぐに素早く60~70cm引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。  
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。

### ⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 5 エンジンがかからない場合は、P.22の「エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

## 👉 エンジンの回転数の上げ方

セーフティボタンを押した状態でアクセルトリガーを引くとエンジン回転が速くなります。



セーフティボタンとアクセルトリガーをゆっくり握っていくと、アクセルトリガーがエンジン始動位置で固定されます。

## エンジンの止め方

- 1 アクセルトリガーより手を放し、低速運転にします。





- 2 エンジンスイッチを OFF「〇側」に押しします。



# 作業の仕方

## 警告

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</li> <li>・動作中に刈刃や回転部分に顔や手足を近づけないでください。</li> <li>・ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。</li> <li>・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。</li> <li>・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li> <li>・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。</li> <li>・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li> <li>・作業中、先端部分をひざの高さより上に上げないでください。</li> </ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に休憩をとってください。</li> <li>・石、コンクリート、金属など硬質な物がある場所では使用しないでください。</li> <li>・装置から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。</li> <li>・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</li> <li>・キックバックに注意してください。</li> <li>・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。</li> <li>・肩掛けストラップに本体を吊り下げ、しっかりハンドルを握って操作してください。</li> <li>・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li> <li>・急傾斜地では使用しないでください。</li> </ul>

## 刈刃・ナイロンカッターで草を刈る

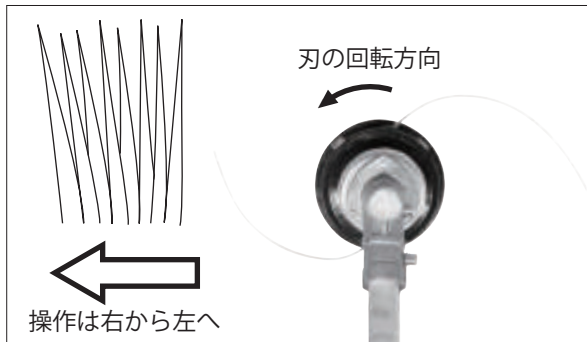
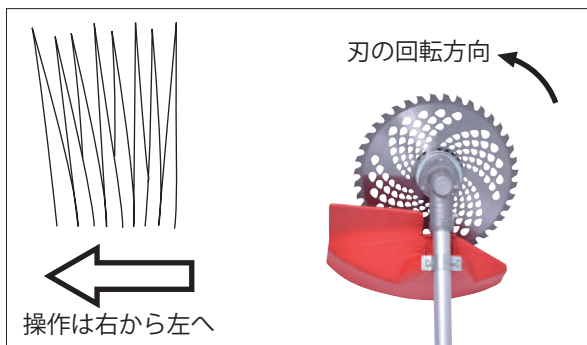
- 1 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2 作業場所にある石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 3 エンジンを始動します。(P.20参照)
- 4 刈刃・ナイロンカッターの高さが地面から10cm位になるように事前にストラップの長さを調整します。  
エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



- 5 ハンドルの握りを緩めた時でも、刈刃・ナイロンカッターの地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。
- 6 草刈り作業は、本体を動かさずに、腰の移動で刈刃・ナイロンカッターを水平にし、右から左に弧を描くように行います。左から右へ動かすとキックバックにより危険です。



# 作業の仕方



**7** 緩やかな傾斜地で使用する場合は、上下方向よりも、横方向に行うようにしてください。

## ⚠ 警告

・足元に十分注意し、体のバランスをくずす恐れのある場所では、本機を使用しないでください。

## ⚠ 注意

・小石の飛びにご注意ください。

## ⚠ 注意

・刈刃を樹木や硬いものに当てないでください。ギヤの故障の原因になります。



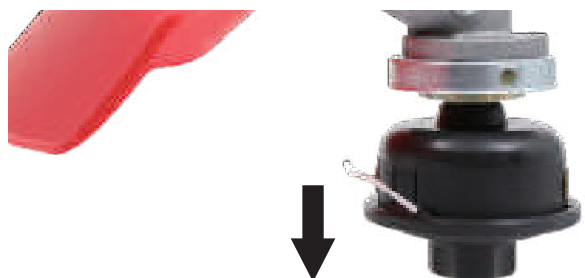
樹木などに当てないでください。



緑石やレンガ等硬いものに当てないでください。

## 👉 ナイロンコードの出し方

ナイロンコードが摩耗した場合、新しいナイロンコードを出します。ナイロンカッターが回転している時に地面にナイロンカッターを軽く叩きつけると、遠心力で新たなナイロンが出てきます。



# 作業の仕方

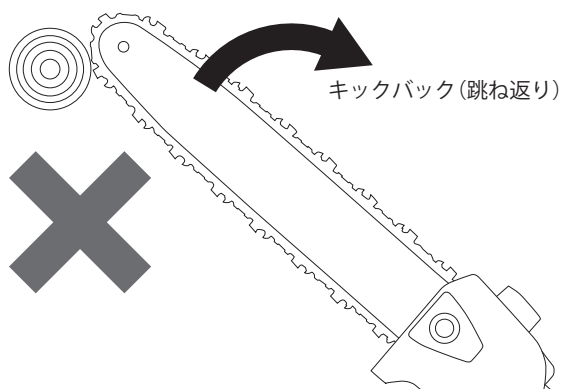
## 警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・切断した枝葉等が飛び散りますので、フェイスプロテクター等を装着して作業を行ってください。

## チェーンソー作業の仕方

### 警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・切断した枝葉等が飛び散りますので、フェイスプロテクター等を装着して作業を行ってください。
- ・電線のある場所で作業を行わないでください。
- ・切断する枝の真下に立って作業を行わないでください。枝が落下して危険です。
- ・ガイドバーの先端部分を使って切断しないでください。キックバック（跳ね返り）が起きて大変危険です。



### 注意

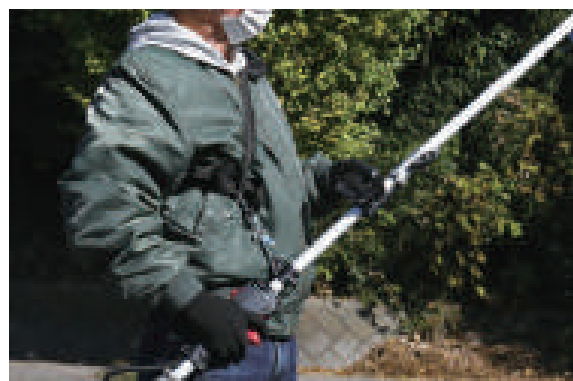
- ・チェーンオイルは必ず入れてください。

- 1 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 2 エンジンを始動します。（P.20参照）

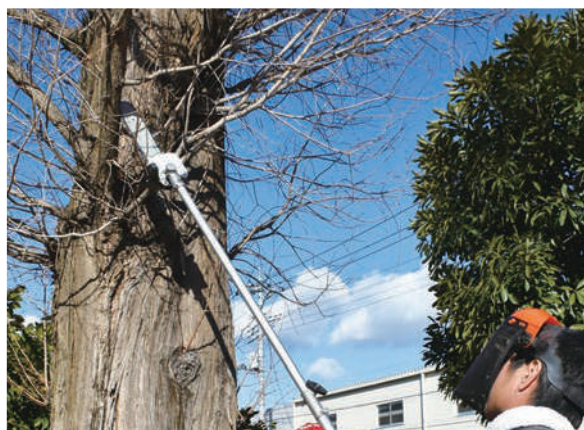
- 3 チェンソー操作がしやすい位置に事前に肩掛けストラップの長さを調整します。エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



- 4 本体が体の右側にくるように、肩掛けストラップを肩にかけ、操作がしやすい位置に肩掛けストラップの長さを変えます。



- 5 チェンソーの重さを利用することで、楽に切断が出来ます。



# 作業の仕方

## 警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・切断した枝葉等が飛び散りますので、フェイスプロテクター等を装着して作業を行ってください。

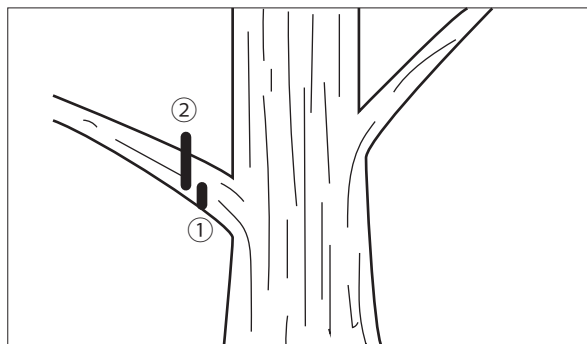
## 注意

- ・枝の落下にご注意ください。

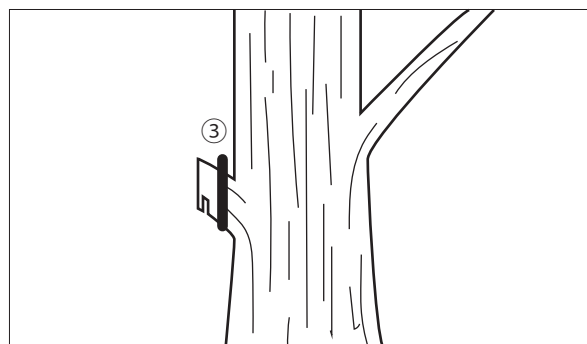
### ■基本的な操作

正しい位置に本機を保持し、常に両手で操作をしてください。

- 1 枝の根元近くの下面に浅く切込み（直径の1/4程度）を入れます。
- 2 枝の先端より上面から切込みを入れます。これで枝が切断されます。



- 3 最後に枝の根元を切断することで切断面がきれいになります。



- 4 使用中定期的にチェーンオイルが入っているか確認し、不足している場合は給油してください。
- 5 使用後は、各部の清掃を行ってください。清掃を怠ると次回使用する際に動かなかったり、切れ味が落ちたりする原因になります。(P.31 参照)
- 6 切れ味が悪くなったら、目立てを行います。(P.33参照)

## ヘッジトリマーで垣根の剪定

### 警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・顔や頭の近くに刈刃を持ってこないでください。

### 注意

- ・ヘッジトリマーで垣根や樹木の太い枝等を剪定しないでください。またフェンスなどに当てないでください。ギヤの故障の原因になります。



太い枝は、刈込を始める前にチェーンソーやノコギリなどで、刈込み位置より10cm程度内側で切っておいてください。

- 1 長袖、長ズボン、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2 エンジンを始動します。(P.20参照)
- 3 剪定する垣根に合わせ、ヘッジトリマーの高さが無理のない位置になるように事前にストラップの長さを調整します。エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



# 作業の仕方

## 警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・切断した枝葉等が飛び散りますので、フェイスプロテクター等を装着して作業を行ってください。

### ■基本的な操作（生垣の刈込）

正しい位置に本機を保持し、常に両手で操作をしてください。

- 1 本機の切断していく能力より早く送りますと、枝が曲がって導入され、高さが揃いません。
- 2 一定の高さに揃えたい場合には、タコ糸や水引糸などを水平に張り、その高さに沿って刈るときれいに仕上がります。
- 3 上面を刈込む場合には、一方向からだけでなく立つ位置を変えて、いろいろな方向から刈るときれいに仕上がります。
- 4 高めの生垣や樹木を刈込む場合は、刈刃の角度を変えることで刈込めます。



- 5 身体が入りにくい部分の生垣を刈込む場合は、刈刃の角度を変えることで刈込めます。



- 6 使用中と使用後の手入れをします。1 時間に 1 回はワイヤブラシで清掃し注油してください。



## ヘッジトリマーで草を刈る

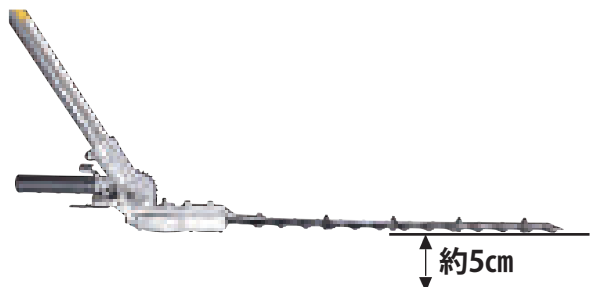
### 注意

- ・刈刃が硬い障害物に当たったら、エンジンを止めて異常がないか確認してください。

- 1 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2 作業場所にある石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 3 エンジンを始動します。（P.20参照）

## 作業の仕方

- 4** ヘッジトリマーの高さが地面から5cm位になるように事前にストラップの長さを調整します。エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



- 5** ハンドルの握りを緩めた時でも、刈刃の地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。

- 6** ヘッジトリマー作業は、本体を動かさずに、腰の移動で刃を水平にし、左右にゆっくり振りながら行います。決して早く振らないでください。

- 7** 使用中と使用後の手入れをします。1時間に1回はワイヤブラシで清掃し注油してください。



# 点検整備・清掃の仕方

## 警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

## 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回は 10 時間運転後	3 ヶ月毎又は 50 時間運転毎	6 ヶ月毎又は 100 時間運転毎	1 年毎又は 300 時間運転毎	掲載ページ
燃料	量、漏れ	●					P.19
エアクリナー	清掃			●			P.29
	交換					●	P.29
点火プラグ	清掃				●		P.29
	交換					●	P.29



この QR コードを読み取ることで、「点検整備・清掃の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

## エアクリナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

- 1 エアクリナーカバー取付けバックルを緩め、カバーを取外します。



- 2 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。
- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

## 点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

- 1 プラグカバーを外し、付属のプラグレンチで、点火プラグを取外します。





## 点検整備・清掃の仕方

**2** 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合は清掃します。

**3** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



**4** プラグキャップにプラグを確実にはめ、スイッチを ON にし、プラグ先端を金属部に当てながらセルスターターを回します。この時プラグ先端から火花が出れば、正常です。  
※手袋着用で行ってください。

適応点火プラグ	NGK	BPM7A
---------	-----	-------

※市販品をご購入の場合は、外した点火プラグを持参し、大きさ・長さを確認しお求めください。

**5** 取外しと反対の手順で取付けます。  
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめつけてください。はめ込みがあまりいと点火しません。

## 刈刃ユニットの点検整備・清掃

刈刃ユニットをご使用後は、毎回各部の清掃を行ってください。清掃をせずにそのまま使用を続けると、故障の原因になります。

刈刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常がある時は新品と交換してください。

■ギヤケースのグリス補充の仕方

**1** 50時間使用毎にグリス(シエルアルバニヤNo2又は相当品)を補充します。

**2** グリス注入ボルトを外します。



**3** ネジ穴から、新しいグリスを充填します。



# 点検整備・清掃の仕方

## チェーンユニットの清掃

### ●ソーチェーンの清掃

ソーチェーンはガイドバーから外し、木屑等の詰まりを毎回取除いてください。

また、刃こぼれがないか確認してください。

互換ソーチェーン	OREGON (オレゴン) 91PX39
----------	----------------------

### ●ガイドバーの清掃

ガイドバーを外し、中にたまった木屑等をブラシなどで毎回清掃をしてください。

### ●チェーンオイル吐出口・スプロケットの清掃

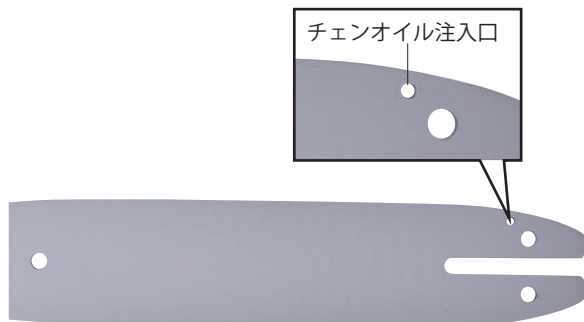
チェーンオイル吐出口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。また、スプロケットやその周辺も丁寧に清掃をしてください。



### ●ガイドバーの清掃

ガイドバーのチェーンオイル注入口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。

また、ガイドバーの溝も毎回清掃してください。



## チェーンユニットの点検整備

チェーンオイルを点検し、不足している場合は補給します。また、ギヤケースに、50時間毎にグリスの補充をします。

### ■チェーンオイル点検手順

- 1 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。



- 2 タンク内のオイル量を点検します。
- 3 チェーンオイルの不足はガイドバー、ソーチェーンの摩耗を早め故障の原因になります。不足にならないよう補充します。

### ■チェーンオイルの補充

- 1 チェンソー専用オイルを準備します。
- 2 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。
- 3 チェンソーオイルを給油します。
- 4 オイルキャップをしっかりと締めます。

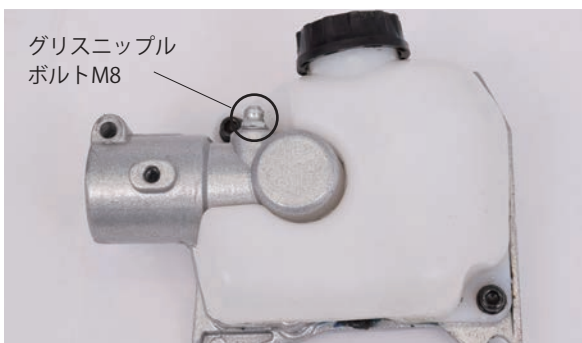
# 点検整備・清掃の仕方

## ■ギヤケースのグリス補充の仕方

- 1** 50時間使用毎にグリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を補充します。



- 2** 2カ所の六角ボルトを外しパイプを外します。



- 3** ギヤケース上側にあるグリスニップルからグリス注入器のチャックノズルを使用してグリスを注入します。  
チャックノズルがない場合は、グリスニップルを8mmのスパナで外し、直接注入します。



グリス注入器のチャックノズルでの注入

- 4** ギヤケース内を覗き込み、古い(変色した)グリスが押し出されるまで注入します。  
変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。  
※市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。



■ソーチェンの目立てはP.33をご覧ください。



# 点検整備・清掃の仕方

## ⚠ 注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。また、手袋を着用して作業を行ってください。

### ソーチェンの目立て

刃の切れ味が悪くなった時、ソーチェンの刃の目立てを行います。（手袋着用）

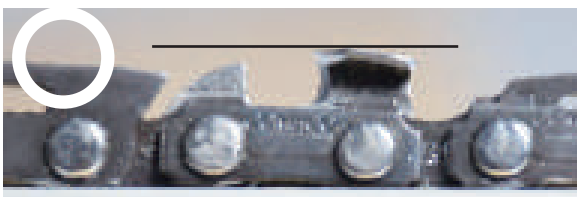
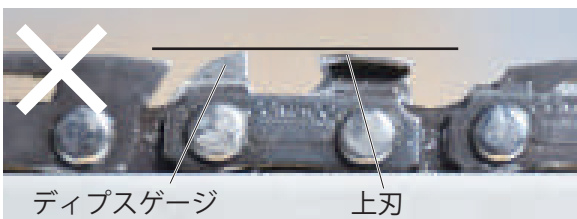
■使用工具 市販の丸ヤスリ（ $\varnothing 4\text{mm}$ ）、平ヤスリ

■作業手順

- 1 ソーチェンの張りを適正にします。(P.16 参照)
- 2 目立ては、ヤスリを押し出す時だけヤスリをけます。同じ向きの刃をすべて研ぎ終わったら、反対側の向きの刃を研ぎます。



- 3 上刃がディプスゲージより低くなった場合は、ディプスゲージの上部を平ヤスリで研ぎます。



※市販品でヤスリの角度を一定に保つ道具があります。それを活用するのもひとつの手です。

# 点検整備・清掃の仕方

## ヘッジトリマーユニットの点検整備・清掃

ヘッジトリマーユニットをご使用後は、毎回各部の清掃を行ってください。清掃をせずにそのまま使用を続けると、故障の原因になります。

刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常がある時は新品と交換してください。

### ■ギヤケースのグリス補充の仕方

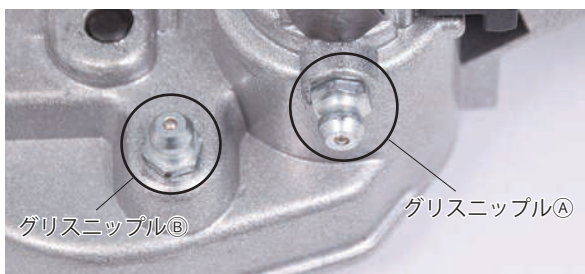
- 1** 50時間使用毎にグリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を補充します。



- 2** 2ヵ所の六角ボルトを外しパイプを外します。



- 3** ギヤケース上側にあるグリスニップルからグリス注入器のチャックノズルを使用してグリスを注入します。  
チャックノズルがない場合は、グリスニップルを8mmのスパナで外し、直接注入します。

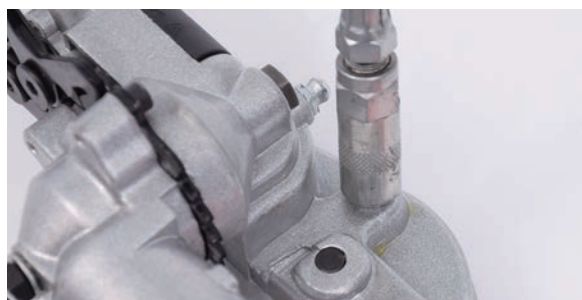


- 4** グリスニップル®からはグリスがギヤケースから古い(変色した)グリスが押し出されるまで注入します。変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。



グリス注入器のチャックノズルでの注入

- 5** グリスニップル®からはグリスをいっぱいになるまで補充します。  
ギヤケースからは、グリスを多く注入した時や使用中にギヤケースから出てくる場合がありますが、故障ではありません。



- 6** ギヤケース点検時にカバーを開け、古いグリスを取除き、新しいグリスを直接塗布します。



※古いグリスは、市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。



# 点検整備・清掃の仕方

## ヘッジトリマーの刃の交換

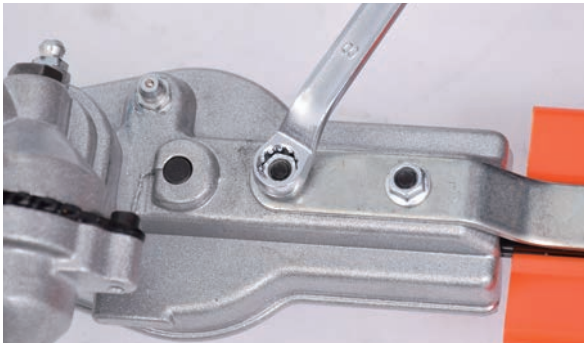
■使用工具 3mm六角レンチ(付属)、8mmスパナ(付属)、8mmメガネレンチをご用意ください。



**警告**

・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

**1** ギヤケースと刃を固定しているステーのナットを8mmのスパナかメガネレンチで外します。



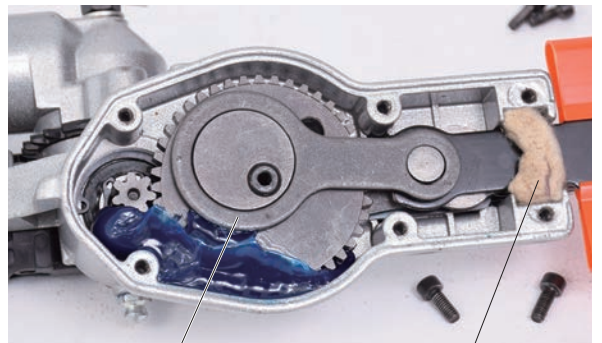
裏側のボルトをスパナで押さえながらメガネレンチでナットを外します。



**2** ギヤケース裏側の六角ボルト7カ所を外します。



**3** ガasket付きプレートを外し、ロッドとフェルトパッキンを外します。



ロッド



フェルトパッキン

**4** 刃裏側のボルトをスパナで押さえながら、表側のナットをメガネレンチですべて外します。



**5** 刃裏側のボルトもすべて外します。



## 点検整備・清掃の仕方

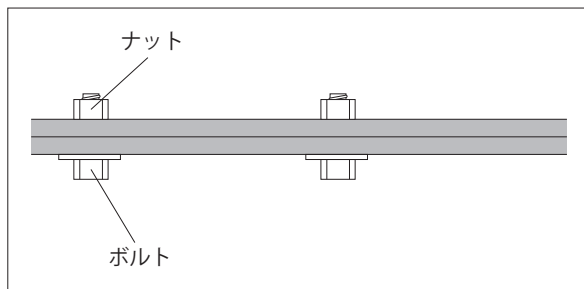
6 刃を外します。



7 新しい刃に交換します。

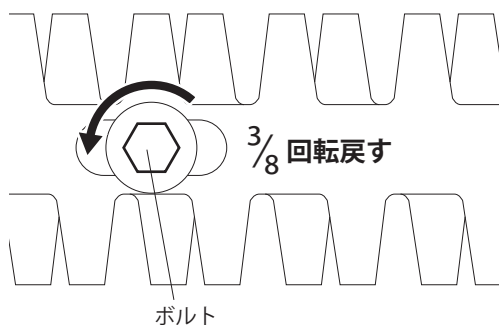
8 取外しと逆の手順で刃を取付けます。

この時、刃を固定するボルト、ナットの締付けがあまいと刈れません。逆に締め過ぎると動きが鈍くなり、ギヤに負荷がかかり故障の原因になります。

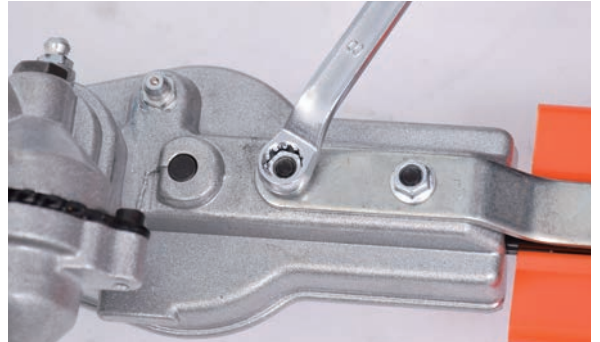


### 締付けのワンポイント

ボルトを最後まで締め、そこから3/8回転ほど戻した所で、ボルトを動かさないようにスパナで固定しながらナットをメガネレンチで締付けます。



9 ギヤケース裏側のフタを取付け、ステーを取付けます。





# 点検整備・清掃の仕方

## アイドリングの調整

エンジン始動時に刈刃が回転したり、スロットルレバーを低速側に戻し、アイドリング状態にしても刈刃が回転する場合は、アイドリング調整を行います。

- 1 アイドリング調整は、付属のプラグレンチのドライバーで調整スクリュを回してください。



- 2 アイドリング時に調整スクリュを反時計回りに回すと、回転が下がり刈刃が回転しなくなります。調整スクリュを時計回りに回すと回転数が上がります。



### ワンポイント

調整していくうちに、どれだけ回したかがわからなくなることがあります。その場合は、一旦右へ全閉に回し、そこから一回転半左に回した位置が出荷時の基本位置となります。

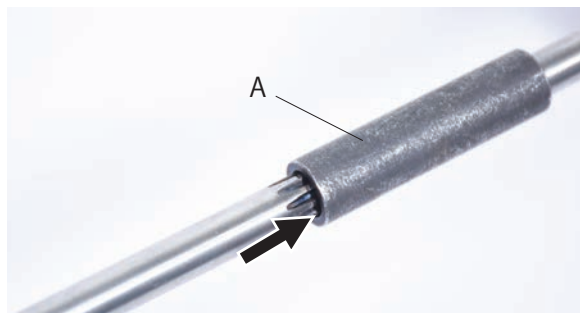
## シャフト

定期的にグリスの補充を行います。

- 1 メインパイプを本体側パイプから引き抜く際、シャフト同士が連結されたままの状態になる場合があります。



- 2 Aの端部（矢印部分）を本体側に軽くゴムハンマー等でたたくと抜けます。



- 3 それでも抜けない場合は、Aを回すと本体側のシャフトと分離しますので、その後、2の手順を行います。

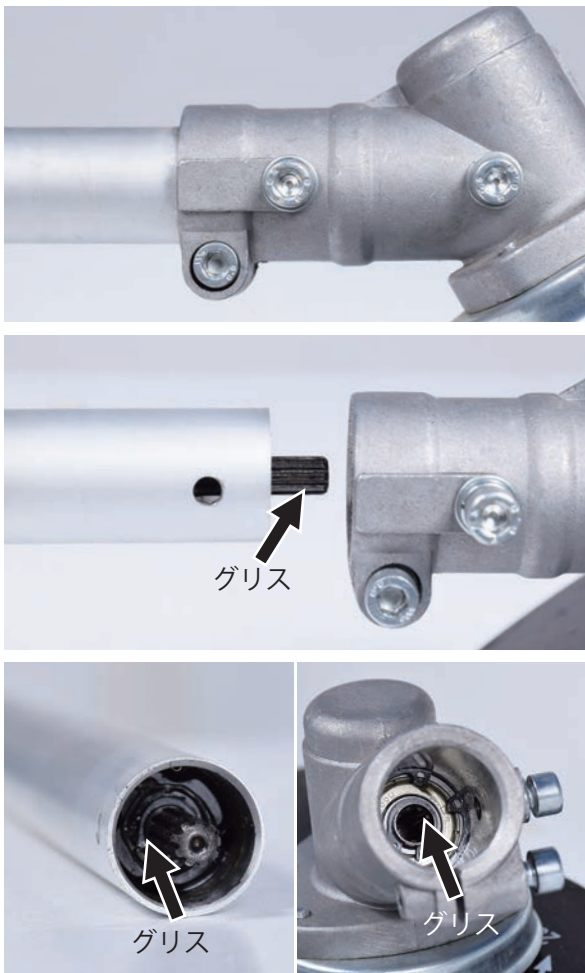


## 点検整備・清掃の仕方

- 4** 本体側のシャフト全体とメインパイプ側のシャフトにグリスを補充します。



- 5** ギヤケースの六角ボルトを2ヵ所緩めてパイプを外し、シャフトやギヤケース内にグリスを補充します。



## ナイロンカッターナイロンの交換

ナイロンコードの交換を行います。

### ■交換手順

ナイロンコードを準備します。

- 1** スプールケースにあるツメを押しながら反時計回りに回し、スプールカバーを外します。



スプールを取出す



ナットの紛失にご注意ください。

- 2** バネを紛失しないよう一旦外します。



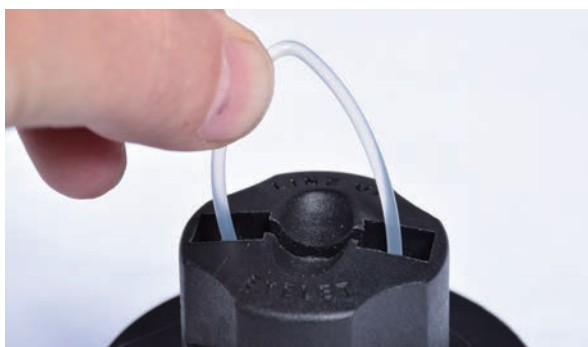
- 3** スプールをひっくり返します。

## 点検整備・清掃の仕方

- 4** 細めのマイナスドライバーをご用意いただき、スプールのサイドの穴に挿込み、ストッパーを押上げます。反対側も同様です。浮いてきたストッパーを抜取ります。



- 5** 古いナイロンコードを引抜きます。



- 6** スプールの穴に新品のナイロンコードを挿込み、横から出てきたナイロンコードを引張ります。反対側も同様です。



- 7** ストッパーをはめます。



- 8** スプールケースの片側の穴にナイロンコードを通します。





## 点検整備・清掃の仕方

- 9** スプールにバネをはめ、スプールケースをかぶせ、反対側の穴にナイロンコードを通し引張ります。



- 10** スプールを反時計回りに回し、ナイロンコードを巻取ります。



- 11** スプールカバーの突起部分を、スプールケースのツメの位置と合わせかぶせます。



- 12** スプールカバーを時計回りに回してロックをします。





## 点検整備・清掃の仕方

---

- 13** 最後にナイロンコードの左右を引張り、巻ムラをなくし、長い場合はカットします。



# 長期間使用しない時

## ●本機を2週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。（燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。）
- 3 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 4 チョークレバーを引上げ「閉」にします。この時「カチッ！」と音がするまで引上げてください。



- 5 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 6 メインパイプにキャップをしてください。



- 7 刈刃カバーを装着し、湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。



# 故障と思ったら

## ●エンジンがかからない

症状	原因	対処
エンジンがかからない	燃料の混合比 25 : 1 以外を使用している	25 : 1 の混合燃料に交換
点火プラグに火花が出ていない ※火花の確認方法は、P.44 参照	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.29 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
	イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.19 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンクの錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除

## ●エンジンはかかるが、回転があがらない

	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.29 参照)
	キャブレターの調整不良	調整 (P.37 参照)

## ●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
------------------	-----------------	---------------------

## ●アクセルを離しても刈刃、ソーチェンヘッジトリマーが回る

アイドリングの回転数が高すぎる	キャブレターの調整不良	調整 (P.37 参照)
-----------------	-------------	--------------

## ●チェーンソーを強く押さないと切れない又は真っ直ぐに切れない

	ソーチェンの摩耗	ソーチェンの目立て (P.33 参照)
	ガイドバーの摩耗	交換

# 故障と思ったら

**点火プラグの点検** ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

**先端が濡れている**

**先端は濡れていない**

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



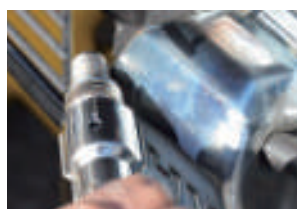
③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチを入れます。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



**火花が出る**






**火花が出ない**

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。



# 消耗品一覧

商品名	商品コード	
チップソー 255mm 40 枚刃	255p40n	
両刃ヘッジトリマー	hta-p34n	
ナイロンコード 2.2mm 角 2 メートル	232198n	
スリムライトカッター	230256n	
ソーチェン ドライブリンク数 39 ピッチ3/8インチ ゲージ0.050インチ (1.3mm)	csa-p27n	
	他社互換ソーチェン OREGON(オレゴン) 91PX39	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。  
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

## 【見積り・注文の流れ】

### ■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

### ■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄
-----

太枠内をご記入ください。

送信日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

<input type="checkbox"/> <b>見積り</b>	<input type="checkbox"/> <b>注文</b>	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> <b>FAX</b>	<input type="checkbox"/> <b>TEL</b>
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒      ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒      ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 代金引換	みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252 ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181 代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	お振込先口座名義人は、 <b>ハイガー・ハイグサンギョウ (カ)</b> となります。
--	---	---	---

## ★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
  - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
  - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
  - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
  - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
  - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

### お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

### お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。  
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。  
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

### お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理\*1か、引取り修理\*2か、出張修理\*3かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
  - ③故障内容の確認
  - ④故障装置の修理
- \*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日  
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社  
〒370-0603  
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1  
ハイガーオフィシャル 検索  
<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力のお願い

重要なお知らせ

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50  
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW